

千葉県社保協通信

2020年度 No.11 2020年 11月26日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉サカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

第11回地域医療を守る全国交流集会～Web開催

住民の要求にもとづく 安全・安心の地域医療実現を!!

11月23日(祝)第11回地域医療を守る全国交流集会がWeb開催され「コロナ禍の日本～自己責任を助長する全世代型社会保障政策を撤回し、安心・安全の地域医療を」と題して芝田英昭氏(立教大教授)が講演。

Magic Word “自助・互助・公助”

まず社会保障「自助・互助・公助」論は、社会保障の公的責任を捨象する「マジックワード」であるとし、1950年代から各年度の「厚生労働白書」から見る「健康自己責任論」の歴史的な流れを解説。そして「全世代型社会保障改革」とは、単に全世代の負担増をねらうばかりでなく、究極の目的は社会保険がカバーする範囲を縮小し、健康・医療産業を育成し、財界の新たな儲け先を開拓することにあると指摘しました。

いつでも どこでも だれにでも 安心の医療を

コロナ禍で生活不安が広がるもと、日本医師会の「医療に関する意識調査」よれば、国民が考える重点課題は「救急医療体制の整備」47.7%・「感染症や災害に対応する医療供給体制の充実」44.5%・「医療の中身は所得の多寡に関係なく同じがよい」74.3%です。

今後の運動の課題として▼国の「病床再編統合検証期限」「新公立病院改革プラン」延期をうけ、住民に寄り



県内では、県自治体福祉センター会場に民医連、千葉労連、自治労連、社保協、地域医療と公立病院を守る県連絡会などから8人。他に自宅から2人がWeb参加しました。

そう地域医療構想に昇華させる ▼医療従事者の量・質の拡大 ▼災害・感染症に備えた医療供給体制の整備。削減でなく余裕のある病床へ～と提起しました。

基調報告の後、各地の運動報告と意見交換が行われました。千葉県からは「地域医療と公立病院を守る県連絡会」の長平弘さんが発言。「自治労連県本部と共同し、新型コロナ対応と課題で14自治体病院を訪問。懇談を通じあらためて、公立・公的病院の存在意義と役割、国の「新公立病院改革プラン」策定の押し付けと医療現場との矛盾の広がりが明らかになった」「県社保協と共同で県に対し要望書を提出し、1月に懇談を予定している」と報告しました。 ●

県憲法共同センター・消費税廃止県連絡会・県社保協

改憲NO! 消費税5%へ!

コロナ第3波 いのち・暮らし守ることこそ!!



24日(火)昼、千葉駅前での共同宣伝を7団体13人で行いました。「コロナ感染拡大第3波が指摘されるいま必要なのは“GOTO”ではなく“PCR検査”拡充を」「医療・介護現場に直接届く支援策を」などと訴えました。

スマホを手に訴えに耳を傾けている様子の男性に声をかけると快く「消費税5%へ」「安全・安心の医療・介護を」の署名に応じてくれました。「どこの政党?」と問われ「今日一緒に宣伝に参加しているのは共産党の方」と応えると「そうですか!」と「改憲NO!」署名にもサイン。「ご家族やお友達にも署名お願いして下さいますか」と話すと「署名用紙」を受け取ってくれました。この日の署名は9筆でした。